

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット — 21頁

4 北方への広がり—奥六郡の北へ—

① 岩手郡の遺跡 高屋敷Ⅲ遺跡(滝沢市高屋敷平)

高屋敷Ⅲ遺跡は東北縦貫自動車道建設に伴い、昭和52、53年に発掘調査がおこなわれました。発掘調査報告書では縄文土器と古代の土師器の出土が報じられていますが、未報告遺物の中に12世紀の常滑産陶器三筋壺が存在することを今回見出しました。常滑産陶器三筋壺は肩部の破片で、三筋文の上から一段目が施された部分です。

小破片のため、全体の器形は不明ですが、三筋文が細い沈線3条で1単位を構成しており、12世紀中葉頃の制作年代と推測できます。外面にはオリーブ色の常滑産陶器によく見られる自然釉が掛かっています。この常滑産陶器三筋壺の出土状況についてははっきりした記録が存在しませんが、経塚などに埋納された状況ではなく、土中から単体で出土したもののようです。遺跡の立地から居館の可能性が想像されます。

◀◀◀ 10月～11月行事予定のお知らせ ▶▶▶

10月21日 (水曜日)	第114回 月例発表会 ※ 樋爪会の樋爪憲三会長が ご出席くださる予定です。	午後7時から午後9時まで 会場 赤石公民館 講義室 発表者：櫻井早苗 テーマ「五郎沼のハス—赤石小学校校外学習—」 発表者：平井和夫 テーマ「吾妻鏡16」
11月8日 (日曜日)	紫波歴史研究会 紫波の歴史遺産 探訪ツアー (協力事業)	午前8時30分から午後3時まで 紫波町東部地区(長岡・赤沢・彦部・佐比内)を、 バス移動で地元案内人の説明を聞きながら行う 探訪ツアー。詳細は、次号でお知らせします。
11月15日 (日曜日)	第3回 赤石公民館 樋爪館入門講座 (協力事業)	午後1時30分から午後3時まで 会場 赤石公民館 講堂 講師：羽柴直人氏(紫波町文化財調査委員) 演題：未定
11月18日 (水曜日)	第115回 月例発表会	午後7時から午後9時まで 会場 赤石公民館 講義室 発表者：熊谷次雄 テーマ「箱清水石卒都婆群—赤石小学校校外学習—」 発表者：高橋敬明 テーマ「異説～俊衡は基衡の子？」

■ 9月27日(日)の会員現地研修旅行参加申込みは、定員を超えたため申込期限3日前に受け付け〆切りとなりました。参加予定の方はコロナ渦に備え体調に十分ご留意願います。

□ 10月18日(日)13時30分から長岡公民館で、紫波歴史研究会主催の歴史講演会「盛岡城の石垣と長岡の石切丁場」(講師:盛岡市遺跡の学び館文化財主任/以内啓邦氏)が、開催されます。詳細は、佐藤観悦代表理事 TEL/080-2831-5157 へお問い合わせください。

【南日詰遺跡発掘調査報告-平成18・19・20年度-】(1) <平成21年3月31日 紫波町教育委員会>

序文

紫波町は、西の奥羽山脈と東の北上高知に抱かれ、町の中央を流れる北上川に清流が集まり自然環境に恵まれた土地である。

この地には、縄文時代の一大群集墓である西田遺跡、平泉藤原氏三館の一つ比爪館、斯波御所と呼ばれた中世斯波氏の居城である高水寺城など数多くの埋蔵文化財が残されており、その数は340箇所に及んでおります。

遺跡の多さと各時代にそれぞれ大規模な遺跡が存在したということは、古来からこの町の住環境が良かったことの証でもあります。

これらは、先人が残した貴重な文化遺産であり、遺跡を保護し後世へ伝えていくことは我々に課せられた責務であります。一方、現代に生きる我々にとって、地域開発と社会資本整備は必要不可欠のものであり町民の願いでもあります。

本書は、紫波町が平成18年度から平成20年度まで行った、下水道関連事業に伴う南日詰遺跡の調査の成果をまとめたものであります。本書が紫波町の歴史文化を解明する資料として広く活用され、町民の皆様の理解の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、調査並びに本書の編集に際しましては、関係各位及び関係機関から多大なるご協力をいただきましたことに対し厚く御礼申し上げます。

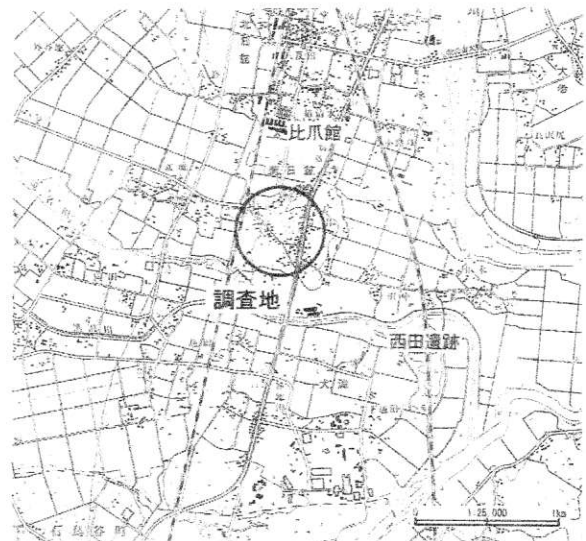
平成21年3月 紫波町教育委員会 教育長 川村秀彦

I 緒論

1 調査に至る経過

本調査は、紫波町が行う公共下水道汚水管渠(2110線)管路施設工事に伴い、平成18年10月19日、南日詰字陰沼地内の国道4号西側歩道を紫波町教育委員会が試掘調査して開始した。

試掘調査の結果、この区域は昭和62年から昭和63年にかけて国道4号拡張工事関連で岩手県埋蔵文化財センターが調査を行った調査区と隣接し、溝状遺構の延長が確認されたので所管課である建設部下水道課と教育委員会が協議を行った。協議の結果、下水道の管路の敷設は路線の深さを設計変更することが出来ず、現状保存が不可能であることから、記録保存のための発掘調査を行うこととした。(次号に続く)



第1図 遺跡の位置

★ 紫波一中フィールドワークに協力 — 案内人部会 —

9月11日(金)の午前中、紫波第一中学校1学年「総合的な学習」フィールドワークに協力することができました。テーマは「紫波町の歴史～郷土の歴史から学ぶ～」・樋爪館跡周辺の歴史(樋爪館跡・赤石小・五郎沼関連)でした。

箱清水公民館で高野案内人部会長が全体説明を行った後、参加生徒32名を2班に分けて野外を案内。古代蓮や五郎沼経塚跡等を高野修と櫻井早苗、発掘調査結果や箱清水石卒都婆群等を高橋敬明と大沼吉英が現地解説を担当しました。



フィールドワーク終了後、五郎沼薬師神社前で

生徒さんたちの真剣な姿から、郷土の歴史遺産に愛着と誇りを抱き、地域の未来を担ってくれるであろう頼もしさを、感じとることができました。

我々にとっても貴重な機会を、与えてくださった佐藤嘉宏校長先生はじめ担当の先生方や、適切にご配慮をいただいた引率の木村先生に感謝しています。